

## 生坂村上下水道運営委員会要旨

1. 日 時 令和6年1月25日(木) 午前10時00分から
2. 場 所 生坂村民会館 講堂
3. 出席者 太田讓・吉澤弘迪・平田勝章(村議会議員)  
宮川虎雄・安坂清人・腰原久男・小山朗央・吉澤明彦・野澤文彦  
(給水区域区長)  
藤澤泰彦(村長) 中山茂也(振興課長) 日岐孝(建設係長)  
瀧澤和旦(建設係主任・上下水道担当)

### 4. 協議事項

- (1) 令和5年度簡易水道事業の運営状況及び令和6年度簡易水道事業の運営について

#### 説明内容

令和5年12月現在の給水人口は1,540名で、年間の給水量は138,385tであり、安曇野市・大町市からの分水料金は総額で約13,300千円となる見込み。令和5年の全体有収率は74.9%で昨年比+7.0%であったことと、修繕や対応状況について説明。

水質検査は毎月1回村内2箇所です採水し検査を実施しており、いずれも異常は見られず水道法の水質基準に適合している。

令和6年度は4月より公営企業会計へ移行することと、主な事業として配水池不断水清掃点検事業、公営企業会計移行支援委託業務、送配水管布設替工事を予定していることを説明。

#### 委員からの質問意見

- Q. 4月から公営企業会計に移行し、今まで入っていなかった減価償却費が入ってくることで給水原価がどのくらい上がるのか教えてほしい。  
A. 現在、予定開始貸借対照表や予定損益計算書を作成しているところであり給水原価の算出まではできていない。
- Q. 一般会計の繰入金が増額など村の財政状況に影響することも踏まえて、広く住民に知ってもらう必要があるのではないか。  
A. 今後、経営成績や財政状況をお示しできるようにしたい。
- Q. 水道施設の修理実績が多いが原因を教えてください  
A. 現在は良い状態であるが、本年度は漏水等が多く発生した年で、管路の老朽化が原因と考えられる。

Q. 工事中に水道管が破損する事案が多い。対応はしているのか。

A. 事前に管路図面の提供をして注意喚起を実施している。破損が発生した場合は現地で指導をしている。

Q. 安曇野市と大町市より受水している水道は、それぞれ同じ項目の水質検査を実施しているのか。

A. 同じ項目で毎月検査を実施している。

(2) 令和5年度下水道事業の運営状況及び令和6年度下水道事業の運営について

#### 説明内容

令和5年12月現在の水洗化率は、農業集落排水地域が92.6%、合併処理浄化槽地域が78.6%であり村全体で85.6%昨年比+1.1%であった。

簡易水道事業と同様に令和6年度は4月より公営企業会計へ移行することを説明。

#### 委員からの質問意見

特になし。

(3) その他

Q. 大規模な地震が発生すると断水が発生して水が供給できなくなる。事前に給水車や浄水器を利用できる体制を準備しておく必要があるのではないか。

A. 1月22日に開催した有収率対策プロジェクト会議の中でも協議をしている。配水管の耐震化や運搬送水、井戸水の利用や水循環型浄水器など様々な対応方式が考えられるため今後検討を進めていきたい。

Q. 早期に漏水がわかるシステムは構築できないのか。

A. 人工衛星を活用して漏水調査を実施している団体もあるので、有収率対策プロジェクト会議で検討していきたい。